

# 教育研究業績書

2024年10月22日

所属：日本語日本文学科

資格：教授

氏名：狩野 雄

研究分野	研究内容のキーワード
中国古典文学, 漢文学	中国古典文学, 楽府, 香り, 匂い, 芳香, 感覚, 身体, 場
学位	最終学歴
博士(文学): 東北大学, 修士(文学): 東北大学	東北大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. 香りの詩学——三国西晋詩の芳香表現	単	2021年1月	知泉書館	
2. 杜甫全詩訳注(二)	共	2016年07月	講談社	
3. 『隋書』音楽志訳注	共	2016年02月	和泉書院	
<b>2 学位論文</b>				
1. 漢魏西晋楽府研究——うたわれていた時代の楽府の相貌	単	2004年9月9日学位取得	東北大学大学院文学研究科	
<b>3 学術論文</b>				
1. 香の荀令君——詩文のなかの荀彧像【査読付】	単	2022年9月	『三国志研究』第17号	
2. 芳る祖国——陸機「悲哉行」の芳香表現をめぐって【査読付】	単	2018年12月	『東北大学中国語学文学論集』第23号	
3. 時を超える匂い——孫呉の感覚世界について【査読付】	単	2018年9月	『三国志研究』第13号	
4. 谷と蘭——陸機「贈潘尼詩」をめぐって【査読付】	単	2017年10月	『日本中国学会2017年度研究集録』(「中国古典における精読の探求」)	
5. 芳りと響き——二陸の詩歌作品に見える感覚表現【査読付】	単	2015年1月	『東方学』第129輯	
6. 謎の蘇合香——二つの異聞のはざままで	単	2013年03月	『未名』第31号	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
7. 匂い立つのか、響くのか——周瑜の「美」をめぐる	単	2012年10月	『林田愼之助博士傘寿記念 三国志論集』	
8. 「戀」する潘岳——漢魏西晋詩歌に見える「戀」字と潘岳「悼亡詩」について	単	2011年11月	『東北大学中国語学文学論集』第16号	
9. 香る身体——六朝民歌の子夜四時歌と謝惠連「擣衣」詩を中心として【査読付】	単	2009年5月	『集刊東洋学』第101号	
10. 輝ける香り、芳しき光り——曹植「迷迭香賦」の「順微風而舒光」句をめぐる	単	2008年09月	『狩野直禎先生傘寿記念 三国志論集』	
11. 迷迭の賦をめぐる——建安文学における芳香表現の一斑【査読付】	単	2008年9月	『三国志研究 第3号』	
12. 香りを含む女たち（下）——先秦漢魏晋期の詩歌辞賦作品に見える芳香と女性の表現について	単	2007年11月	『東北大学中国語学文学論集』第12号	
13. 香りを含む女たち（上）——先秦漢魏晋期の詩歌辞賦作品に見える芳香と女性の表現について	単	2006年11月	『東北大学中国語学文学論集』第11号	
14. 舞台の上の曹丕楽府——曹丕楽府に見える楽舞表現をめぐる【査読付】	単	2005年10月	『日本中国学会報』第57集	
15. 有名と無名のあいだ（下）——後漢“楽府”の一側面	単	2005年03月	『相模国文』第32号	
16. 有名と無名のあいだ（上）——後漢“楽府”の一側面	単	2004年03月	『相模国文』第31号	
17. 西晋宫廷における相和歌辞の一側面——「晋樂所奏」の相和歌辞をめぐる【査読付】	単	2002年10月	『日本中国学会報』第54集	
18. 石崇楽府について——〈史〉的性格とその背景【査読付】	単	2001年5月	『集刊東洋学』第85号	
19. 張衡「四愁詩」と後漢の「七言」——傅玄の「擬四愁詩序」を端緒として【査読付】	単	2001年1月	『東方学』第101輯	
20. 傅玄の制作——魏晋文人楽府制作の一背景【査読付】	単	1999年10月	『集刊東洋学』第82号	
21. 歌謡としての古楽府——歌われた「場」についての一考察	単	1997年03月	『文化』第60巻(3・4号)	
その他				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2007年6月～現在	三国志学会
2. 1999年11月～現在	六朝学術学会
3. 1995年10月～現在	東方学会
4. 1993年10月～現在	日本中国学会
5. 1991年5月～現在	東北中国学会
6. 1991年4月～現在	中国文史哲研究会